

(表紙)

「パンフレット表題：I Rって何？」

大阪府・大阪市は、大阪・夢洲（ゆめしま）へのI R（統合型リゾート）の誘致をめざしています

(パンフレット1頁目)

「項目1：そもそもI Rって何？」

【I RはIntegrated Resortの頭文字で統合型リゾートと呼ばれています】

I Rは、国際会議場、展示場、ホテルやレストラン、ショッピングモール、エンターテインメント施設、カジノ施設などで構成される一群の施設で、民間事業者が一体的につくり、運営するものです。民間ならではの自由な発想で、ビジネス客やファミリー層など幅広い層が昼夜を問わず楽しめる魅力ある施設と質の高いサービスが提供されます。国際競争力の高い魅力ある滞在型観光を実現し、観光及び地域経済の振興に寄与するとともに、財政の改善に資することを目的として、2018年7月に特定複合観光施設区域整備法（I R整備法）が成立し、国内で3か所を上限として、I Rの設置が進められることとなりました。

→I Rは、これまでになくスケールとクオリティを有する総合的なリゾート施設です

「トピック：日本型I R」

我が国において整備をめざすI R（日本型I R）は、単なるカジノ解禁ではなく、世界の人々を惹きつけるような我が国の魅力を高め、大人も子供も楽しめる新たな観光資源を創造し、ナショナル・プロジェクトとして、整備の効果を日本全国に波及させようとするものです。

I R整備法では、カジノ施設のほか、国際会議場施設、展示等施設、魅力増進施設、送客施設、宿泊施設、来訪及び滞在寄与施設が、I Rとして位置付けられていますが、これらの施設については、

- ・我が国においてこれまでになくクオリティを有する内容
- ・これまでになくスケールを有する我が国を代表することとなる規模
- ・民間の活力と地域の創意工夫をいかせるもの

とすることが求められています。

(パンフレット2頁目)

「項目2：どうして大阪にI Rが必要なの？」

【将来性が見込まれる成長産業に注力することが必要です】

大阪府の人口は、2018年度から2040年度の22年間で、約12%減少することが見込まれており、需要・労働力の減少が懸念されます。

しかし、新たに期待できるものがあります。

例えば、大阪を訪れる外国人観光客とその消費額は近年急増しています。大阪とその周辺には、多くの世界遺産をはじめ、魅力的な観光地がたくさんあります。また、大学・研究機関や各業種・分野の企業、産業支援機関等が集積しています。空港や道路、鉄道が整い、便利な大阪には、ビジネス客やファミリー層など幅広い層の観光客を、まだまだ増やせる可能性があります。

「掲載図：大阪を訪れる外国人観光客と消費額の推移（出典：公益財団法人大阪観光局作成資料を基に作成）」

・外国人観光客来阪者数

2014年	376万人
2015年	716万人
2016年	940万人
2017年	1,110万人
2018年	1,142万人

・外国人観光客消費額

2014年	2,661億円
2015年	5,784億円
2016年	8,735億円
2017年	11,840億円
2018年	12,352億円

【「観光」を基幹産業として育てていくことで、大阪の更なる成長につながります】

観光産業は裾野が極めて広く、地域における様々な産業分野へ、その効果が波及します。多くの観光客が大阪に長く滞在し、多くの消費をすることで、より大きな経済効果がもたらされます。そのための大きな装置が“IR”です。

→IRは、大阪・関西の持続的な経済成長のエンジンになります

「掲載図：新しいものに出会えるIR」

- ・体験する/EXPERIENCE
- ・食べる/EAT
- ・泊まる/STAY
- ・ビジネスに活かす/BUSINESS
- ・リフレッシュする/REFRESH

- ・働く/WORK
- ・楽しむ/ENTERTAINMENT
- ・ショッピングする/SHOPPING

I Rはカジノだけじゃない。楽しいことがいっぱい！

(パンフレット3頁目)

「項目3：大阪のどこにI Rをつくろうとしているの？」

【大阪湾の中央、関西の中心に位置する夢洲（ゆめしま）です】

- ・大阪の都心部に近い、甲子園球場約100個分の広大な埋立地です（面積約390ha）
- ・周囲が海に囲まれており、非日常空間を創り出すことができます
- ・都心や関西国際空港との高速道路が整備されるなど、周辺都市だけではなく、西日本各地とのネットワークを形成することができます

「トピック：大阪I R基本構想」

大阪I Rの基本コンセプトやめざす姿に加え、ギャンブル等依存症をはじめとする懸念事項への取組みの方向性等を明らかにするものです。有識者で構成するI R推進会議での意見も踏まえ、2019年12月に策定しました。

このパンフレットは、大阪I R基本構想の内容に基づき作成しています。

(パンフレット4頁目)

「安心して滞在できるまちを実現します」

臨海部ではすでに「大阪市地域防災計画」において想定される地震、津波などの災害へのハード対策に取り組み、安全性は確保されています。

加えて、夢洲における消防署の設置をはじめ、I R事業者や関係機関と連携しながらソフト対策やハード対策に取り組み、来訪者が安心して滞在できるまちを実現します。

【ソフト対策】

- ・来訪者が安心して滞在できるよう、I R事業者による安全確保やエネルギー自立対策などを考慮したBCP（事業継続計画）の策定
- ・大阪観光局等と連携し、SNSを活用するなどしたインバウンドへの情報提供、24時間体制の相談窓口の設置など

【ハード対策】

- ・大阪港においては、災害時の緊急交通路及び避難路に架かる橋梁等（夢舞大橋、夢咲

トンネル) について、大規模地震による影響に対しての安全性の検証を行い、耐震性を確保

- ・災害時においても継続的なエネルギー供給を行えるインフラ整備

「トピック：夢洲の地盤」

夢洲の地盤高さは、地盤沈下を見込んだ 50 年後でも、O.P. (大阪湾最低潮位面) + 9m 程度と想定しています。津波や高潮の最高想定潮位に対して十分な余裕を確保しており、2018 年 9 月の台風 21 号の際にも浸水被害はありませんでした。

また、粘性土を主成分とする浚渫土砂等で埋立されており、液状化しにくい地盤です。

(パンフレット 5 頁目・6 頁目)

「項目 4：どんな I R をめざしているの？」

【大阪・関西の持続的な経済成長のエンジンとなる世界最高水準の成長型 I R をめざします】

<大阪 I R の基本コンセプト：世界最高水準の成長型 I R >

- ・「世界最高水準」の I R：世界中から人・モノ・投資を呼び込み、経済成長のエンジンとするため、ビジネス客、ファミリー層など世界の幅広い層をターゲットとする
- ・「成長型」の I R：50 年・100 年先を見据え、初期投資だけでなく、常に時代の最先端となる施設・機能とサービスで変化を遂げる

<大阪 I R は次の機能・施設を有します>

1. 世界水準のオールインワン MICE 拠点の形成 (国際会議場施設及び展示等施設)

(1) MICE 誘致に必要な施設を一体的に整備した、世界水準の競争力を備えたオールインワン MICE 拠点

(2) 世界水準の規模と質を兼ね備える、日本最大の複合 MICE 施設の整備

国際会議場：最大会議室収容人数 6 千人以上、1 万 2 千人規模の会議に対応

展示等施設：10 万㎡以上の展示面積

- ・アフターコンベンションまで含めた利用者目線の空間構成
- ・多種多様な催事に対応できるフレキシブルなレイアウト
- ・多彩な演出が可能となる最先端設備の導入 等

(3) 大阪府・大阪市・経済界・大阪観光局等が一体となった、オール大阪での MICE 推進・誘致体制の強化

「トピック：MICE って何？」

MICE(マイス)とは、多くの集客交流が見込まれる下記のビジネスイベントなどの総称で

す。観光振興にとどまらず、「人が集まる」という直接的な効果はもちろん、ビジネス・イノベーションの機会の創造、地域への経済効果、国・都市の競争力向上といった、人の集積や交流から派生する付加価値を生み出すエンジンとなります。

- ・ Meeting：企業等のミーティング 等
- ・ Incentive Travel：企業が従業員やその代理店等の表彰や研修などの目的で実施
- ・ Convention：国際団体、学会、協会が主催する総会、学術会議 等
- ・ Exhibition / Event：文化・スポーツイベント、展示会・見本市

2. 魅力の創造・発信拠点の形成（魅力増進施設）

- (1) 大阪・関西・日本が誇る魅力を効果的な手法で発信
(大阪・関西・日本の伝統、文化、芸術などの魅力の例)
 - ・ 演劇・演芸などの様々な公演等を随時開催
 - ・ 伝統的な芸道を実際に体験・体感できる機会を提供
- (2) 大阪 I R 発、大阪・関西・日本のコンテンツの発展・創造

3. 日本観光のゲートウェイの形成（送客施設）

- (1) 大阪・関西・西日本をはじめ、日本各地との連携による観光客の送り出し
(観光客を送り出す機能の例)
 - ・ VR 技術等による観光案内
 - ・ ICT を活用した情報提供・手配
- (2) 大阪・関西の強みを活かした、大阪 I R 発のニューツーリズムの創出
(ニューツーリズムの例)
 - ・ ウェルネスツーリズム
 - ・ スポーツツーリズム

4. 利用者需要の高度化・多様化に対応した宿泊施設の整備（宿泊施設）

- (1) 世界水準の規模と質を有する宿泊施設の整備
 - ・ 客室数：大阪 I R 全体の来場者数等を踏まえ、3,000 室以上の客室数を整備
 - ・ ゆとりある客室空間：諸外国の I R や世界的なブランドの宿泊施設に匹敵する、ゆとりある客室空間を確保
- (2) ビジネス客やファミリー層、富裕層など多様な宿泊ニーズに対応できる施設・サービスの提供

5. オンリーワンのエンターテイメント拠点、リゾート空間の創出（来訪及び滞在寄与施設）

- (1) あらゆる人が楽しめる、夢洲でしか体験できないエンターテイメントの提供

- ・世界最高峰のショー
 - ・最先端技術を使った魅力的な屋外ショー
- (2) 世界中の人が訪れたくなる非日常を感じられる都市型のリゾート空間、長期滞在を楽しめる上質な施設・サービスの提供
- (施設・サービスの例)
- ・好奇心を満たすショッピングモール
 - ・世界一流の食が楽しめるレストランエリア
- (3) 大阪の新たなランドマークとなるインパクトのある空間の形成
- ・斬新なデザインの建築物による新たな都市景観
 - ・海に囲まれた広大な土地を活かした夢洲にしかない景観

「トピック：大阪 I R の想定事業モデル（数値は概算）」

- ・敷地面積：約 49ha
 - ・投資規模：9,300 億円
 - ・施設規模：総延床面積 100 万㎡
 - ・年間来場者数：1,500 万人/年
 - ・年間延利用者数：2,480 万人/年
 - うちノンゲーミング施設：1,890 万人/年
 - ゲーミング施設：590 万人/年
 - ・年間売上：4,800 億円/年
 - うちノンゲーミング：1,000 億円/年
 - ゲーミング（GGR）：3,800 億円/年
- (注) GGR（カジノ行為粗収益）…賭け金総額－顧客への払戻金

(パンフレット 7 頁目)

「項目 5：どうして I R にはカジノがあるの？」

【健全なカジノ施設の収益が、他の施設の運営や社会に還元されます】

他にない斬新で質の高い施設をつくるには、多額の投資をとまなうものであり、特に、収益性が低く公益性の高い国際会議場や展示等施設などの MICE 施設を民間の事業者が整備し運営するためには、カジノ施設の収益を活用し、安定的に運営するしくみが必要です。

また、厳格な規制・監視の下で行う健全なカジノを認めることで、税金はもとより、雇用や経済効果などの形で、公共の利益のため、収益を還元できるのです。

【 I R 整備法による世界水準のカジノ規制】

カジノ事業の免許は、カジノ管理委員会による関係者への徹底的な調査を経て、十分な社会的信用があると確認されなければ与えられません。

また、カジノ行為への依存を防止するため、(1)ゲーミングに触れる機会の限定、(2)誘客時の規制、(3)厳格な入場規制、(4)カジノ施設内の規制、(5)相談・治療につなげる取組みまで、重層的/多段階的な取組みが整備されています。

<多段階的な取組み>

(1) 機会の限定

(具体的施策例)

- ・ I R の区域数の限定 (全国で上限は 3 か所)
- ・ カジノ施設の数の限定 (一つは I R 区域につき 1 か所)
- ・ ゲーミングエリアの限定 (I R 全体の延床面積の 3 % 以下)
- ・ オンラインカジノの禁止

(2) 誘客時の規制

(具体的施策例)

- ・ 広告・勧誘規制
- ・ コンプ規制 (注) コンプ : カジノの利用に応じて提供される物品やサービス

(3) 厳格な入場規制

(具体的施策例)

- ・ 入場回数の制限 (連続する 7 日間で 3 回、連続する 28 日間で 10 回に制限)
- ・ 厳格な本人確認 (マイナンバーカードで確認)
- ・ 入場料の賦課 (6,000 円/回・24 時間単位)

(4) カジノ施設内の規制

(具体的施策例)

- ・ カジノ行為に関する規制 (著しく射幸心をあおることの防止)
- ・ 貸付規制
- ・ ATM の設置に関する規制

(5) 相談・治療につなげる取組み

(具体的施策例)

- ・ 相談窓口の設置
- ・ 本人・家族申告による利用制限

【 I R 整備法の規制に加え、大阪府・大阪市が独自に事業者を求める対策】

- ・ ICT 技術を活用した行動追跡による注意喚起や警告など、依存防止措置
- ・ 本人の申告により、カジノでの賭け金額、滞在時間の上限を設定できる仕組みの構築
- ・ 24 時間 365 日利用可能な相談体制の整備

- ・リスクの告知や健全なギャンブル行動を促す等のサービス提供 など

「トピック：カジノ管理委員会」

カジノ施設の設置及び運営に関する秩序の維持及び安全の確保を図るために、内閣府の外局として設置された委員会。カジノ管理委員会は、カジノ事業に関して疑わしいことがあれば、どこまででも徹底的に調査を行える権限を有しています。

(パンフレット8頁目)

「項目6：カジノがあることで、ギャンブル等依存症や犯罪が増加するんじゃないの？」

【ギャンブル等依存症対策】

日本には、既にギャンブル等依存症で悩んでいる方がおられます。2017年度の国の調査では、「ギャンブル等依存症が疑われる者」の割合は、過去1年以内のギャンブル等の経験等について評価した者のうち0.8%（約70万人）、生涯を通じたギャンブル等の経験等について評価した者のうち3.6%（約320万人）と推計されています。

【大阪府・大阪市では既に対策に取り組んでいます】

- ・高校生向けの予防教育
- ・大阪府こころの健康総合センター等での専門相談（注）
（注）大阪市にお住まいの方は大阪市こころの健康センター、堺市にお住まいの方は堺市こころの健康センター
- ・土日の電話相談（おおさか依存症土日ホットライン）
- ・大阪精神医療センター等での専門治療
- ・依存症の方が抱える様々な問題に対応する関係機関の連携協力 など

【IR実現を契機に、ギャンブル等依存症対策のトップランナーをめざします】

- ・大阪府・大阪市では、依存症対策のトップランナーをめざし、発症・進行・再発の各段階に応じた、防止・回復のための対策について、世界の先進事例に加え、大阪独自の対策をミックスした総合的かつシームレスな取組み（大阪モデル）を構築します。
- ・「大阪モデル」の構築に向けて、学識者、医療従事者に加え、依存症の方の家族や民間支援機関等で構成するギャンブル等依存症対策研究会を設置・運営しています。

(想定される取組み例)

- ・依存症問題の総合的な相談・治療及び回復支援機能の強化
- ・「責任あるゲーミング」の観点からの公民連携パートナーシップ体制の構築のため、IR事業者も参画する協議体を設置
- ・大学・研究機関・企業との協働による依存症研究の推進

- ・ ICT・AI 技術を活用するなど先進的な依存症対策研究の推進 など

【治安・地域風俗環境対策】

I R 開業後、国内外からの観光客の増加に伴い、犯罪件数の増加等、治安・地域風俗環境の悪化を懸念する声もあります。

【警察・I R 事業者と緊密に連携し、万全の取組みを実施します】

良好な治安・地域風俗環境を保持するため、警察官の増員や、夢洲における警察署等警察施設の設置など警察力の強化を図るとともに、地域防犯を推進し、さらに I R 事業者において自主的かつ万全の防犯・警備対策を講じさせるための枠組みを構築します。

(想定される取組み例)

- ・ 組織犯罪対策・暴力団等反社会的勢力対策
 - マナー・ローンダリング対策
 - 暴力団等の事業介入の排除
 - 暴力団員等の入場規制の徹底
- ・ 国際テロ対策
 - 情報収集・警戒警備など、各種国際テロ対策の推進
- ・ 犯罪抑止対策・地域風俗環境対策
 - 巡回の実施
 - 防犯環境に係る対策の推進
 - 民間警備員の配置や防犯カメラの設置
- ・ 来日外国人の増加に伴う対応
 - 通訳体制等外国人対応の強化
 - 不法滞在外国人等に対する取締りの推進
- ・ 青少年対策
 - カジノの入場規制の徹底
- ・ I R 施設周辺の交通対策
 - 交通安全施設の整備、道路交通環境の整備
 - 適正な交通規制の実施 など

(パンフレット 9 頁目・10 頁目)

「項目 7：I R ができたら大阪はどうなるの？」

【成長する大阪の実現】

<世界最高水準の成長型 I R の立地>

(期待効果)

- ・ビジネス客やファミリー層の来訪者の増加
- ・訪日外国人の増加
- ・国際会議・大規模展示会開催の増加
- ・質の高い観光サービスの提供による1人あたり観光消費額の増加

↓

<様々な分野への波及効果>

(期待効果)

- ・来訪者の増加に伴う、モノやサービスへの幅広い新たな需要の増加による経済波及効果、雇用創出効果
- ・地元企業を中心に、様々な産業分野へのプラスの波及効果
- ・MICE 推進による新たな産業の創出、産業の振興
- ・一大観光拠点・MICE 拠点の形成により、大阪・関西における都市の魅力と国際競争力の向上に寄与
- ・I R 区域への来訪者を各地に送り出すことにより、効果を相乗的に全国各地へ波及
- ・納付金・入場料等の活用による行政サービスの充実

「トピック：I Rによる経済波及効果、雇用創出効果」

大阪I Rのめざす姿を踏まえ、初期投資や運営による経済波及効果、雇用創出効果を試算しています。

- ・経済波及効果（建設時）1兆2,400億円
- ・雇用創出効果（建設時）7.5万人
- ・経済波及効果（運営）7,600億円／年
- ・雇用創出効果（運営）8.8万人／年

(注) 近畿圏への経済波及効果

【地域の振興・発展】

- ・ベイエリア開発の活性化など新たな賑わいの創出
- ・雇用機会の増大や質の高い仕事の創出等による雇用の拡大
- ・ビジネスチャンスの拡大や地元企業を中心とした大きな波及効果の創出等による地域経済の振興
- ・地域振興などに向けたI R事業者による地域への貢献

【関西・西日本をはじめ、日本各地への波及効果】

- ・大阪府域はもとより、関西・西日本をはじめ、日本各地への集客効果の波及
- ・多彩な交通アクセスの誘発等による充実した交通ネットワークの形成

【納付金・入場料等の活用】

- ・住民福祉の増進、持続的な成長に向けて広く活用

(活用事例)

子育て、教育、福祉、観光振興、文化芸術・スポーツの振興、懸念事項対策、地域経済振興 など

「トピック：納付金・入場料等の収入見込み（試算）」

事業者からは、税金に加え、GGRの15%ずつが国と自治体へ納付されます。また、日本人及び国内に住居を有する外国人の入場者は、国と自治体から3,000円ずつ入場料を賦課されます。

大阪府・大阪市における収入を次のとおり試算しています。

- ・納付金収入 570億円/年
- ・入場料収入 130億円/年
- ・税収 150億円/年

(注) GGR(カジノ行為粗収益) … 賭け金総額－顧客への払戻金

「項目8：今後の予定は？」

【IR開業に向けた想定スケジュール】

- ・2018年度 (国) IR整備法成立
 - ・2019年度 (国) 基本方針策定(注1)
 - ・2019年度から2021年度にかけて
 - 実施方針策定
 - 事業者公募・選定
 - 区域整備計画作成、公聴会等の実施
 - 議会議決
 - 区域整備計画の認定の申請・認定(注1)
 - 実施協定締結、土地引渡し・工事着工(注2)など
 - ・2021年度以降 IR整備
 - ・2024年度以降 IRの開業
- (注1) 国のスケジュールは想定
(注2) 時期は事業者の提案による

(裏表紙)

大阪府・大阪市は、2017年4月に、共同でIR推進局を設置し、大阪・夢洲へのIR誘致に向けた取組みを進めています。

大阪府・大阪市の考える I R についての情報を、より詳しくお知りになりたい方は、I R 推進局ホームページをご覧ください。

大阪府・大阪市 I R 推進局

電話番号：06-6210-9236

ホームページ URL：http://www.pref.osaka.lg.jp/bu_irsuishin

このパンフレットは、12,000 部印刷し、1 部あたりの単価は 30.5 円です。